

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

国際・交流事業 通信

2023-24 年度 国際・交流事業主任 牧野万里子



2023-2024 年度 事業主題

異文化交流を楽しもう！～世界のワイズメンと共に～

2023年11月1日

西日本区強調月間 11 月 BF

国際協会のメンバーであることを自覚し
献金目的の理解を深め、積極的に協力しましょう

★BF 献金目標 1人あたり 1,500 円



皆様、こんにちは。11 月は BF 強調月間です。

BF(Building Fellowship)は、ワイズメンズクラブ国際協会でも最も古くから行われている国際プログラムのひとつです。この事業の理解を深め、国際奉仕団体のメンバーとして、基金の充足と活用に貢献しましょう。

【BF Building Fellowship ビルディングフェロウシップ】

クラブ間の交流を深め、ワイズ運動のリーダーを養成するための国際協会の制度です。全世界のワイズメンズクラブ会員の参加によって、使用済みの切手を切手市場で換金する方法が主力でしたが、後に地元のクラブからの現金寄付が増え、近年は現金による献金が主になりつつあります。2022年5月の国際会議において、これまでのBrotherhood FundからBuilding Fellowship に名称が変更されました。IYC参加者への補助金、カーボンオフセットプロジェクトへの助成金等もこの制度から支給されます。

【BF代表 BF Delegate】

BF 代表には、会員一般向けのものとして、BF 文化交流代表、BF 大会代表の 2 種類があります。

- ◆BF 文化交流代表 : 10 日間以上 30 日間以内、訪問先のトラベルコーディネーターが企画する旅程にしたがって、他区の地域のクラブを訪問し、日程が合えば国際大会、地域大会または区大会に参加します。旅行費用の 75% (最大 2,400CHF)が国際協会から支給されます。帰国後は、国際協会に所定の報告書を提出し、また訪問で得られた経験、知見をクラブ・区内で積極的にシェアすることが義務付けられています。

- ◆ **BF 大会代表** : 国際大会、地域大会または他国の区大会に参加します。旅費等の一部が国際協会から支給されます。支給額は、応募者数、応募者の所属する国・地域と大会開催地の距離、その他の事情を考慮して、各地域に割り当てられた予算の中で地域会長が決定します。報告書の提出義務などはありません。

BF代表に応募するには、所属クラブが、80CHF以上のBF献金、または使用済み切手換金によるBF献金を20CHF以上行っていることが必要となります。

- ★国内切手 1kg 600 円
 - ★外国切手 1kg 1, 000 円
- として換算します

この制度を通じて世界のワイズメンとの友情の輪が広がることを願っております。積極的なご応募をお待ちしております。



各部、各クラブ事業報告

◆ IBC 締結式

2023年10月14日(土)第49回富士山部部大会にて西日本区京都部 京都プリンスクラブ・東日本区富士山部伊東クラブ IBC 締結式が執り行われました。おめでとうございます。この友情の輪がさらに大きく広がり、50年後、100年後へのワイズメンへと繋がることを願っております。



◆事業懇談会

■京都部

8月25日(金)ホテルモントレ京都にて
国際・交流事業懇談会開催

アジア太平洋地域 STEP/iGo 主任を
お招きして iGo についての講演を
いただき、その後、各クラブの活動報告の発表、
ファンド商品の紹介などが行われた。
参加者約 60 名。



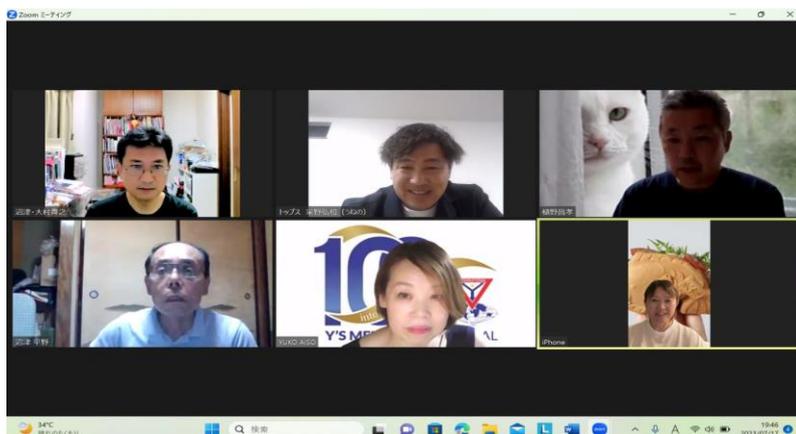
◆各クラブ活動報告

■京都トップスクラブ

・7月3日(月)IBC 台中エバーナイスクラブと近況報告を行なう
引継ぎ例会の様子などをクラブのグループラインで共有



・7月27日(金)DBC 沼津クラブの役員会に ZOOM 参加



・7月30日(日)DBC 茨木クラブと交流
茨木クラブがサポートする茨木フェスタに参加



・8月12日(土)
奈良クラブ納涼例会に参加納



・8月23日(水)
DBC 茨木クラブ涼例会に参加



■京都 ZERO クラブ

・8月24日(木)DBC 長浜クラブと交流例会を開催

合同で例会を運営

クイズ形式で長浜の文化を紹介



■京都ウエストクラブ

- ・8月12日(土)~13日(日) DBC 東京ひがしクラブと交流
東京深川水かけ祭りに参加



- ・9月1日(金)~3日(日)
DBC ヘキサゴン
熊本にしクラブ、
大阪西クラブと交流

- 1日 九州部ゴルフコンパ参加
- 2日 九州部部会、
フェローシップに参加、
- 3日 熊本城観光、
DBC ヘキサゴン昼食会参加



TOPICS



在京都ラオス人民共和国名誉領事館訪問 10月27日(金)

参加者 YMCA サービス・ユース事業主任 吉田由美
地域奉仕・環境事業主任 川口恵
国際・交流事業主任 牧野万里子



～ラオスにYMCAを！～は、2022年5月京都パレスクラブが50周年記念事業として、ラオス人民共和国にYMCA国際ホテル専門学校の開設を起点とし最終的にはYMCA設立をめざす事業です。クラブを超えて東西の多くのワイズメンがこの事業に共感し、多数の賛同の声が寄せられております。西日本区でも、役員会にて満場一致でこの事業を支援していくことが承認されました。各事業がどのように事業に係っていくかについて考えてみよう、と、事業主任3名で領事官を訪問することになりました。大野名誉領事(京都パレスクラブ)よりラオスの現状、日本との関係などについてのレクチャーを受け、またこの事業に対する熱い思いを話していただきました。クラブ、地域を超えてワイズメンが一丸となってこの事業に取り組むことは、ワイズの発展に繋がり、新しい友情が生まれることを確信いたしました。またワイズの交流の醍醐味とは、このようなことではないかと強く感じました。大野名誉領事、ありがとうございました。

【ラオスから来た4頭の子象】

【京都市からラオスに寄贈された市バス】



左から『秋都トンカム』『春美カムパート』
『冬美トンクン』『夏美ブンニョン』
京都市動物園に4頭の子象が寄贈された事は
マスコミにも大きく報道されました。

像のお礼として京都の市バスが寄贈されました。ラオスの街には京都の市バスが走行しているそうです。

事業報告書提出のお願い

多くのクラブ様より毎月ブリテンを送っていただきありがとうございます。各クラブ様の活発に活動されている様子を拝見させていただいております。各部、各クラブ事業活動を共有し、交流事業を盛り上げていきたいと思っております。活動報告書のご提出お待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。